

伊丹市総合交通計画進捗状況報告書 【実施施策編】

平成29年度第1回伊丹市総合交通計画推進協議会資料
日 時：平成29年7月25日(火)午前10時～
場 所：防災センター301会議室

目次

基本目標 1. 快適な移動を支える都市の道路空間の整備

- 基本戦略 1-① 自転車の安全・快適な利用の促進 1
- 基本戦略 1-② 安全・快適で歩いて元気になるみちづくり 4
- 基本戦略 1-③ 目的や役割に応じた効率的な道路整備 8
- 基本戦略 1-④ 環境に配慮した交通まちづくり 11

基本目標 2. 交流を支える公共交通の充実

- 基本戦略 2-① 鉄道利便性の向上 13
- 基本戦略 2-② バス利便性の向上 15
- 基本戦略 2-③ ユニバーサルデザイン(バリアフリー化)の推進 17
- 基本戦略 2-④ 公共交通の利用促進 19

基本目標 3. 中心市街地の回遊性とにぎわいの向上

- 基本戦略 3-① 中心市街地回遊性の向上 24
- 基本戦略 3-② 空港を活かしたまちづくり 25
- 基本戦略 3-③ 中心市街地における自転車等の放置の防止 27

基本目標 4. 地域でつくる交通まちづくり

- 基本戦略 4-① 地域でつくる交通まちづくり 29

その他

- 後期で着手する施策 32

報告書の見方

本報告書は、伊丹市総合交通計画(以下「計画」)の『Ⅱ. 実施計画編』に記載されている【実施施策】について、進捗状況等を基本戦略ごとにまとめています。また、各実施施策については、事業者ごとに実施状況について、記載しています。

• 事業者名を記載しています。複数の事業者で実施している施策については、併記しています。

• 平成29年度に実施を予定している内容について記載しています。
 • 予算は、実施予定内容にかかる費用(人件費を除く)について記載しています。予算が発生しないものは「-」、左記実施内容についての予算額の算出が困難な場合等は「×」を記載しています。

基本目標 1. 快適な移動を支える都市の道路空間の整備

基本戦略 1-① 自転車の安全・快適な利用の促進

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体																		
1	a	○	自転車通行空間の整備	伊丹市自転車ネットワーク計画に基づき、安全・安心な自転車通行空間の確保及び歩道のセミフラット化※を推進する。	市																		
実施主体	事業者		計画策定時(平成26年度)の状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>平成27年度実施内容</th> <th>H27事業費(千円)</th> <th>平成28年度実施内容</th> <th>H28事業費(千円)</th> <th>平成29年度実施予定内容</th> <th>H29予算(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◆伊丹市自転車ネットワーク計画 自転車通行空間整備状況 計 3.6km 【市】 ・自転車専用通行帯: 0.6km ・部分指定: 1.2km 【兵庫県】 ・部分指定: 1.8km</td> <td></td> <td>◆伊丹市自転車ネットワーク計画 自転車通行空間整備状況 計 4.4km 【市】 ・部分指定: 0.3km 【兵庫県】 ・自転車専用通行帯: 0.5km</td> <td>139,885</td> <td>◆伊丹市自転車ネットワーク計画 自転車通行空間整備予定 計 10.9km 【市】 自転車専用通行帯: 0.7km (市)昆陽池千僧線 車道混在: 2.3km (市)新幹線北側道路ほか 詳細設計業務 (市)昆陽車塚線 【兵庫県】 自転車専用通行帯: 1.5km (県)山本伊丹線 (県)姥ヶ茶屋伊丹線 (県)西宮豊中線</td> <td>319,489</td> </tr> <tr> <td>◆伊丹市自転車ネットワーク計画 自転車通行空間整備状況 計 6.4km 【市】 ・車道混在: 0.4km ・自転車専用通行帯: 0.4km 【兵庫県】</td> <td>217,412</td> <td>今後、自転車通行空間の整備を検討する必要がある幹線道路は、歩道幅員が植樹帯を含め2.5m程度となっている</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)	◆伊丹市自転車ネットワーク計画 自転車通行空間整備状況 計 3.6km 【市】 ・自転車専用通行帯: 0.6km ・部分指定: 1.2km 【兵庫県】 ・部分指定: 1.8km		◆伊丹市自転車ネットワーク計画 自転車通行空間整備状況 計 4.4km 【市】 ・部分指定: 0.3km 【兵庫県】 ・自転車専用通行帯: 0.5km	139,885	◆伊丹市自転車ネットワーク計画 自転車通行空間整備予定 計 10.9km 【市】 自転車専用通行帯: 0.7km (市)昆陽池千僧線 車道混在: 2.3km (市)新幹線北側道路ほか 詳細設計業務 (市)昆陽車塚線 【兵庫県】 自転車専用通行帯: 1.5km (県)山本伊丹線 (県)姥ヶ茶屋伊丹線 (県)西宮豊中線	319,489	◆伊丹市自転車ネットワーク計画 自転車通行空間整備状況 計 6.4km 【市】 ・車道混在: 0.4km ・自転車専用通行帯: 0.4km 【兵庫県】	217,412	今後、自転車通行空間の整備を検討する必要がある幹線道路は、歩道幅員が植樹帯を含め2.5m程度となっている				
平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)																		
◆伊丹市自転車ネットワーク計画 自転車通行空間整備状況 計 3.6km 【市】 ・自転車専用通行帯: 0.6km ・部分指定: 1.2km 【兵庫県】 ・部分指定: 1.8km		◆伊丹市自転車ネットワーク計画 自転車通行空間整備状況 計 4.4km 【市】 ・部分指定: 0.3km 【兵庫県】 ・自転車専用通行帯: 0.5km	139,885	◆伊丹市自転車ネットワーク計画 自転車通行空間整備予定 計 10.9km 【市】 自転車専用通行帯: 0.7km (市)昆陽池千僧線 車道混在: 2.3km (市)新幹線北側道路ほか 詳細設計業務 (市)昆陽車塚線 【兵庫県】 自転車専用通行帯: 1.5km (県)山本伊丹線 (県)姥ヶ茶屋伊丹線 (県)西宮豊中線	319,489																		
◆伊丹市自転車ネットワーク計画 自転車通行空間整備状況 計 6.4km 【市】 ・車道混在: 0.4km ・自転車専用通行帯: 0.4km 【兵庫県】	217,412	今後、自転車通行空間の整備を検討する必要がある幹線道路は、歩道幅員が植樹帯を含め2.5m程度となっている																					
市	市																						

• 計画策定時(平成26年度)における、状況を記載しています。

• 計画策定時からの各年度ごとの実施状況を記載しています。
 • 計画期間は、平成28年度からですが、平成27年度の状況についても、参考として掲載しています。
 • 事業費は、実施内容にかかる費用(人件費を除く)について記載しています。事業費が発生しないものは「-」、左記実施内容について事業費の算出が困難な場合等は「×」を記載しています。

• 平成29年度の施策の方向性について記載しています。方向性は、下記の①~⑧で表記しています。それぞれの表記の意味は、下記のとおりです。

①「検討」 事業実施について、検討中の場合。(事業実施に向けた調査・研究を含む。)
 ②「新規実施」 検討を経て、今年度より、新規で実施する場合。
 ③「実施継続」 昨年度と同様に実施する場合。
 ④「拡大」 昨年度より規模を拡大して実施する場合。
 ⑤「縮小」 昨年度より規模を縮小して実施する場合。
 ⑥「廃止」 昨年度まで実施していた事業を廃止する場合。
 ⑦「要見直し」 検討の結果、実施困難または、後期着手施策とすることが望ましいと結論付けた場合。
 ⑧「完了」 施策が完了した場合。

• この施策についての課題や、伊丹市以外での取り組み状況について、記載しています。

③実施継続

基本目標1. 快適な移動を支える都市の道路空間の整備

基本戦略1-① 自転車の安全・快適な利用の促進

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要			実施主体
1	a	○	自転車通行空間の整備	伊丹市自転車ネットワーク計画に基づき、安全・安心な自転車通行空間の確保及び歩道のセミフラット化※を推進する。			市
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	◆伊丹市自転車ネットワーク計画 自転車通行空間整備状況 計 3.6km 【市】 ・自転車専用通行帯：0.6km ・部分指定：1.2km 【兵庫県】 ・部分指定：1.8km		◆伊丹市自転車ネットワーク計画 自転車通行空間整備状況 計 4.4km 【市】 ・部分指定：0.3km 【兵庫県】 ・自転車専用通行帯：0.5km	139,885	◆伊丹市自転車ネットワーク計画 自転車通行空間整備予定 計 10.9km 【市】 ・自転車専用通行帯：0.7km (市)昆陽池千僧線 ・車道混在：2.3km (市)新幹線北側道路ほか ・詳細設計業務 (市)昆陽車塚線 【兵庫県】 ・自転車専用通行帯：1.5km (県)山本伊丹線 (県)姥ヶ茶屋伊丹線 (県)西宮豊中線	319,489
		◆伊丹市自転車ネットワーク計画 自転車通行空間整備状況 計 6.4km 【市】 ・車道混在：0.4km ・自転車専用通行帯：0.4km 【兵庫県】 ・自転車専用通行帯：1.2km		217,412		今後、自転車通行空間の整備を検討する必要がある幹線道路は、歩道幅員が植樹帯を含め2.5m程度となっており、歩道の有効幅員が約1.5mとなっている路線もあることから、自転車・歩行者の通行空間の確保と街路樹の適正化が課題である。	

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要			実施主体
2		○	既存駐輪場の再整備	利用しやすい駐輪場として再整備し、自転車利用者の自律を促す。			市
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	・阪急伊丹駅前地下自転車駐車場管理機器更新工事 ・JR伊丹駅前第1自転車駐車場ラック更新工事		・JR伊丹駅前第3自転車駐車場ラック更新工事 ・JR伊丹駅前第1自転車駐車場ラック更新工事 ・平松自転車駐車場改修工事 ・西台自転車駐車場壁面サイン工事等	51,741	・東有岡自転車駐車場ラック更新工事 ・船原自転車駐車場ラック更新工事	51,000
				・阪急伊丹駅前地下自転車駐車場防犯カメラ更新工事		1,857	

基本目標1. 快適な移動を支える都市の道路空間の整備

基本戦略1-① 自転車の安全・快適な利用の促進

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
3		○	自転車運転交通ルールの周知や通行マナー向上に向けた情報提供	自転車交通安全教室を継続して実施する。	警察署 交通安全協会 市		
実施主体 市	事業者 市	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性 H29予算(千円)
		伊丹警察署、伊丹交通安全協会と協力して、一般市民及び小・中学校の児童・生徒を対象に、市主催の自転車交通安全教室を実施(参加人数:3,843人)	伊丹警察署、伊丹交通安全協会と協力して、一般市民及び小・中・高等学校の児童・生徒を対象に、市主催の自転車交通安全教室を実施(参加人数:5,650人)	570	伊丹警察署、伊丹交通安全協会と協力して、一般市民及び小・中・高等学校の児童・生徒を対象に、自転車交通安全教室を実施する。また、積極的に事業所(企業等)での自転車交通安全教室を実施する。	614	
			伊丹警察署、伊丹交通安全協会と協力して、一般市民及び小・中・高等学校の児童・生徒を対象に、市主催の自転車交通安全教室を実施(参加人数:8,678人)	724	一般市民参加者の獲得	③実施継続	
交通安全協会 警察署	交通安全協会 警察署	伊丹市、伊丹警察署、伊丹交通安全協会と連携して、市民及び小・中学校の児童・生徒を対象に自転車交通安全教室を実施(参加人数:13,176人)		伊丹市、伊丹警察署、伊丹交通安全協会と連携して、市民及び小・中学校の児童・生徒を対象に自転車交通安全教室を実施(参加人数:11,783人)	×	・引続き、伊丹市、伊丹警察署、伊丹交通安全協会と連携して、市民及び小・中学校の児童・生徒を対象に自転車交通安全教室を実施する。 ・市民が利用する施設の駐輪場や高齢者の利用が多い施設における、待ち受け型の交通安全教室や啓発活動を推進する。	×
		伊丹市、伊丹警察署、伊丹交通安全協会と連携して、市民及び小・中学校の児童・生徒を対象に自転車交通安全教室を実施(参加人数:9,930人)	×	・伊丹市内の自転車関係人身交通事故は、減少傾向にあるものの県下平均より高い割合で推移している。自転車関係事故で第一当事者になっているのは、15歳以下の児童、生徒より、高校生から60歳までの成人層が多く、大人のルール無視が多い。	③実施継続		

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体
再掲56 P27 参照	b	○	既存施設を活用した駐輪場整備や機械式路上駐輪場(路上駐輪ラック)の設置(基本戦略3-③参照)【再掲】	阪急伊丹駅周辺駐輪対策として、ペDESTリアンデッキ※等既存施設を活用した駐輪場整備を検討する。阪急伊丹駅及びJR伊丹駅周辺において機械式路上駐輪場を設置し、買物客など短時間駐輪する場合の利便性向上を図る。また、県道に対しても県と連携して、機械式路上駐輪場の設置をめざす。	県市

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
4		○	レンタサイクルの推進	日常生活における自動車から自転車・公共交通への転換を図るとともに、観光客にとっても利便性の高い交通手段であるレンタサイクルを推進する。	市		
実施主体 市	事業者 市	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
		JR伊丹駅において、駅りん君(JR西日本実施)サービスの提供	新たな取り組みなし	—	レンタサイクルの実施拡大に向けて、調査・研究する。	—	
			新たな取り組みなし	—	—	①検討	

基本目標1. 快適な移動を支える都市の道路空間の整備

基本戦略1-① 自転車の安全・快適な利用の促進

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体	
5		○	自転車安全利用啓発指導員※の委嘱による指導、啓発の実施	各地域でボランティアの指導員を委嘱し、自転車の安全利用に関する指導、啓発を実施する。	市	
実施主体 市	事業者 市	計画策定時(平成26年度)の状況 実施なし	平成27年度実施内容 平成28年度実施内容 伊丹市自転車安全利用啓発指導員要綱を作成し、要綱に基づき指導員を募集。2名の応募があり、講習会を開催後、委嘱。	H27事業費(千円) H28事業費(千円) 68	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況 指導員による啓発活動を実施。また、交通安全啓発イベント等への指導員の参加を促す。指導員の増員に向けては、再度、各種団体に周知を図るとともに、他市の事例研究を行う。	H29予算(千円) H29年度施策の方向性 22
			新たに4名の指導員を委嘱。計6名の指導員が、各活動地域での啓発活動や中心市街地での街頭啓発活動を実施。また、年度末提出の活動報告書から、来年度に向けての課題等を分析した。	1	指導員の獲得とスキルアップ	③実施継続

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体	
6		○	警察による指導強化	自転車利用者に対する指導強化を、警察と連携して取り組んで行く。	警察署	
実施主体 警察署	事業者 警察署	計画策定時(平成26年度)の状況 春と秋の全国交通安全運動の他、伊丹市、伊丹交通安全協会と連携して年間7回の自転車街頭指導及び自転車安全利用啓発活動を実施した。	平成27年度実施内容 平成28年度実施内容 ・春と秋の全国交通安全運動の他、伊丹市、伊丹交通安全協会と連携して年間4回の自転車街頭指導及び自転車安全利用啓発活動を実施した。 ・悪質、危険性の高い違反については検挙した。	H27事業費(千円) H28事業費(千円) ×	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況 今後も自転車の街頭指導及び安全利用啓発活動について、伊丹市、伊丹交通安全協会と連携を図り、継続して実施する予定。 ・本年度においては、JR伊丹駅東側の連絡橋において、自転車の安全利用啓発キャンペーンを実施した。(6/2) ・悪質、危険の高い違反や交通事故で過失率の高い場合は検挙していく。	H29予算(千円) H29年度施策の方向性 ×
			・春と秋の全国交通安全運動の他、伊丹市、伊丹交通安全協会と連携して年間3回の自転車街頭指導及び自転車安全利用啓発活動を実施した。 ・悪質、危険性の高い違反については検挙した。	×	・自転車が第一当事者になった交通事故を年齢別で検証すると、15歳以下の児童、生徒よりも高校生から60歳までの年代が多く、高校生以上や社会人世代の違法意識を高める必要がある。	③実施継続

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体	
7		○	損害賠償保険の加入推奨	自治会等を通じて損害賠償保険の加入を推奨する。	市	
実施主体 市	事業者 市	計画策定時(平成26年度)の状況 実施なし	平成27年度実施内容 平成28年度実施内容 広報紙、HP、自治会回覧、自転車交通安全教室で加入を推奨	H27事業費(千円) H28事業費(千円) ×	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況 HP、自転車交通安全教室で加入を推奨する。	H29予算(千円) H29年度施策の方向性 ×
			HP、自転車交通安全教室で加入を推奨	×	保険業法等の関係から、商品の詳細な説明や特定の商品の紹介ができない。	③実施継続

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体
再掲55 P27 参照	a	○	地下(地上)ハイテク駐輪場の整備(基本戦略3-③参照)【再掲】	JR伊丹駅周辺において、地下ハイテク駐輪場を整備するとともに、他にも整備可能な場所がないか検討する。	市

基本目標1. 快適な移動を支える都市の道路空間の整備

基本戦略1-② 安全・快適で歩いて元気になるみちづくり

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体	
8	a	○	安全・安心見守りカメラ、ビーコン※の設置	市内の道路上に1,000台のいわゆる防犯カメラとビーコン受信機を設置する。カメラ設置を明示することで、犯罪等の抑止を図るとともに、発信機所持者の位置情報を保護者へ送るインフラ※整備を行う。将来はビーコンを活用し、スタンプラリーなどにも活用を図る。	市	
実施主体 市	事業者 市	計画策定時(平成26年度)の状況 市内全17小学校区で開催された地域懇談会で、安全・安心見守りカメラの設置の可否について意見聴取した。当会において、カメラを活用して徘徊する認知症高齢者の捜索要望が挙げられた。その結果、道路を中心に1,000台の安全・安心見守りカメラとビーコン受信機の設置を決定した。	平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
			伊丹・桜台・天神川小学校区を中心に、安全・安心見守りカメラとビーコン受信機を200台設置した。これらの安全・安心見守りネットワークの整備に合わせ、当該3小学校区において、認知症高齢者や子どもの位置情報を保護者に通知する「まちなかミマモルメ」の運用を開始した。	299,738	安全・安心見守りネットワークの運用を継続して実施する。 また、「まちなかミマモルメ」の加入促進策として、認知症高齢者や障がい者(児)、小学1年生を対象に、利用料金を無償とするともに、アプリをバージョンアップし、自動販売機を活用して、検知箇所を50カ所程度増設する。	33,932
			14小学校区を中心に安全・安心見守りカメラとビーコン受信機を800台設置し、市内全域で1,000台の安全・安心見守りネットワークの整備を完了した。 また、12月より市内全域で、「まちなかミマモルメ」の運用を開始した。	120,308	「まちなかミマモルメ」の加入率の増加	③実施継続

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体	
9	b		歩いて元気になるみちづくりの推進(ストリートファニチャー※等の整備)	歩行者の休憩のためのベンチやウォーキングコースの案内看板の設置、目標となる施設の距離の表示、遊歩道の活用推進、ウォーキングポイント制度の継続など、歩いて楽しく元気になるみちづくりをめざす。	市	
実施主体 市	事業者 市	計画策定時(平成26年度)の状況 実施なし	平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
			実施なし 設置箇所の検討を行った。	— —	設置箇所の検討を行う。 道路上へのストリートファニチャーの設置は、規制等とニーズを考慮する必要があり、設置箇所が限定される。	— ①検討

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体	
10		○	歩行者通行空間の整備(歩道整備、カラー舗装等)	猪名川左岸線等で整備予定。 伊丹市自転車ネットワーク計画に基づき、安全・安心な自転車通行空間の確保及び歩道のセミフラット化※、ガードレールの整備を併せて実施する。	市	
実施主体 市	事業者 市	計画策定時(平成26年度)の状況 (都)猪名川左岸線、市道昆陽5429号線、市道昆陽池鑄物師線の整備を推進した。	平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
			(都)猪名川左岸線、市道昆陽5429号線、市道昆陽池千僧線の整備を推進した。 市道昆陽5429号線の整備を実施した。 (都)猪名川左岸線、市道昆陽池千僧線の整備を推進した。	183,840 289,880	(都)猪名川左岸線、市道昆陽池千僧線の整備を完了させる。 —	114,283 ③実施継続

基本目標1. 快適な移動を支える都市の道路空間の整備

基本戦略1-② 安全・快適で歩いて元気になるみちづくり

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要				実施主体
11		○	通学路の安全対策	伊丹市通学路安全推進会議において、地元要望書により現地検証した結果、対策が必要とされた箇所について、通学路安全対策推進会議を組織し、ガードレールの整備等継続的に対策を実施する。広畑・中野・北河原・寺本・北野・御願塚地区でのゾーン30※の導入に合わせて、ハンブ・クランク※等物理的対策を推進する。				警察署市
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)	
				平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性	
市	市	通学路の交通安全確保を着実かつ効果的に実施するため、伊丹市通学路安全対策推進会議設置要綱を策定し、会議を年間9回開催した。		伊丹市通学路安全対策推進会議設置要綱に基づき、学校や地元から要望書等をもとに伊丹市通学路安全対策推進会議を年間9回開催した。横断歩道の新設や、路面標示による注意喚起等を行い、通学路の安全対策を行った。	×	伊丹市通学路安全対策推進会議設置要綱に基づき、学校や地元から要望書等をもとに伊丹市通学路安全対策推進会議を開催する。グリーンベルトの設置や路側帯の新設等により、通学路の安全対策を推進する。	×	
				伊丹市通学路安全対策推進会議設置要綱に基づき、学校や地元から要望書等をもとに伊丹市通学路安全対策推進会議を年間11回開催した。歩道の拡幅やポストコーンの新設等を行い、通学路の安全対策を行った。	×	—	③実施継続	
警察署	警察署	年間9回、伊丹市教育委員会、道路管理者、伊丹警察署による伊丹市通学路安全対策推進会議を開催し、通学路の改善を図った。 ・横断歩道新設 3 ・一時停止新設 1 ・歩行者用灯器新設 1 ・歩車分離式信号への変更 1 ・30Km/h規制 1		年間9回、伊丹市教育委員会、道路管理者、伊丹警察署による伊丹市通学路安全対策推進会議を開催し、通学路の改善を図った。 ・横断歩道新設 4 ・ゾーン30 2 ・歩行者用道路見直し 23 ・指定方向外進行禁止 1	×	毎月、伊丹市教育委員会、道路管理者、伊丹警察署による伊丹市通学路安全対策推進会議を開催し、通学路の改善を図っている。 ・歩行者用規制見直し 1 ・横断歩道新設 2 ・横断歩道見直し 1 ・一時停止新設 1 今後も推進会議、現地検討会議を踏まえて、安全対策を推進していく。	×	
				年間11回、伊丹市教育委員会、道路管理者、伊丹警察署による伊丹市通学路安全対策推進会議を開催し、通学路の改善を図った。 ・横断歩道新設 3 ・信号設置見直し 1 ・歩行者用道路見直し 1 ・一時停止新設 2 ・駐車禁止 7	×	・物理的に速度を抑制させる方策が効果的であるが、騒音等の問題が生じるため、事前に地区住民の理解と協力を得る必要がある。	③実施継続	

基本戦略1-② 安全・快適で歩いて元気になるみちづくり

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要			実施主体
12		○	介護保険制度の福祉機器レンタル、障害者制度の補装具給付制度の周知	歩行・移動が困難な高齢者や障がい者を対象に、車いすや電動車いすのレンタルや給付ができる制度の周知に努め、社会参加を促す。			市
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)
				平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性
市	市	<p>◆介護保険制度に基づき福祉用具の貸与及び特定福祉用具購入費の支給を実施(要した費用の9割もしくは8割相当額を支給、支給限度額あり)</p> <p>【平成26年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉用具貸与 27,903件 特定福祉用具購入 824件 <p>◆身体の機能低下を補完するため、使用する補装具の購入・修理費用の一部を支給する補装具給付制度の周知を図るため、障害福祉制度について紹介する冊子「福祉の手引き」及びホームページに記載し、制度の周知を実施</p> <p>【平成26年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 補装具給付 280件 <p>◆社会福祉協議会では、障害者福祉センターにて車いすの貸し出しを実施。</p> <p>【平成26年度実績】250台</p>		<p>◆介護保険制度に基づき福祉用具の貸与及び特定福祉用具購入費の支給を実施(要した費用の9割もしくは8割相当額を支給、支給限度額あり)</p> <p>【平成27年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉用具貸与 30,445件・特定福祉用具購入 790件 <p>◆身体の機能低下を補完するため、使用する補装具の購入・修理費用の一部を支給する補装具給付制度の周知を図るため、引き続き「福祉の手引き」及びホームページにより補装具制度の周知に取り組んだ。</p> <p>【平成27年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 補装具給付 310件 <p>◆社会福祉協議会では、引き続き、障害者福祉センターにて車いすの貸し出しを実施</p> <p>【平成27年度実績】277台</p>	428,750	<p>◆介護保険制度に基づき福祉用具の貸与及び特定福祉用具購入費の支給を実施(要した費用の9割もしくは8割相当額を支給、支給限度額あり)</p> <p>【平成29年度計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉用具貸与 34,272件・特定福祉用具購入 756件 <p>◆身体の機能低下を補完するため、使用する補装具の購入・修理費用の一部を支給する補装具給付制度の周知を図るため、引き続き「福祉の手引き」及びホームページにより補装具制度の周知を実施</p> <p>【平成29年度計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> 補装具給付 313件 <p>◆引き続き、社会福祉協議会の事業として、歩行・移動が困難な市民を対象に車いすの貸し出しを実施</p>	422,564
				<p>◆介護保険制度に基づき福祉用具の貸与及び特定福祉用具購入費の支給を実施(要した費用の9割もしくは8割相当額を支給、支給限度額あり)</p> <p>【平成28年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉用具貸与 32,221件・特定福祉用具購入 682件 <p>◆身体の機能低下を補完するため、使用する補装具の購入・修理費用の一部を支給する補装具給付制度の周知を図るため、引き続き「福祉の手引き」及びホームページにより補装具制度の周知を実施</p> <p>【平成28年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 補装具給付 290件 <p>◆社会福祉協議会では、引き続き、障害者福祉センターにて車いすの貸し出しを実施</p> <p>【平成28年度実績】316台</p>	397,131	—	③実施継続

基本目標1. 快適な移動を支える都市の道路空間の整備

基本戦略1-② 安全・快適で歩いて元気になるみちづくり

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体	
13			バス停の改良(上屋およびベンチの設置)	バス停の上屋やベンチ、従来型ベンチでは道路占有許可基準※を満たさないバス停での省スペースの収納式ベンチの設置を進め、バス待ち環境の改善を図るとともに、歩行者の休憩場所として活用する。	市	
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	交通局	収納式ベンチを年1~2カ所設置し環境改善を図っている。 上屋についても新設及び建替え、修繕を行っている。		収納式ベンチ2基、標準ベンチ1基を設置した。 道路改良工事に伴い、上屋2基を設置した。 収納式ベンチ1基を設置した。 道路改良工事等に伴い、上屋2基を設置した。	3,414 2,585	1,496 ③実施継続

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体
再掲46 P24 参照	a		中央伊丹線のフルモール※化の検討(基本戦略3-①参照)【再掲】	(都)中央伊丹線について、地域の合意形成を図りながら実施について検討する。	市

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体
再掲47 P24 参照	b		無電柱化による快適な歩行空間の整備(基本戦略3-①参照)【再掲】	道路の電柱をなくし電線等を地下等にまとめて収容することで、安全で快適な歩行空間を確保する。 都市計画道路※整備事業と併せて検討する。 中心市街地の4極2軸路線は、伊丹酒蔵通りをはじめ景観重点地区に指定されており、地域及び電線管理者の合意形成を図りながら実施に向けて協議する。	市

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体	
14			街路樹の適正な管理	伐採・植栽も含め、街路樹の適正な管理を継続的に実施していく。	市	
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	街路樹の高木及び低木の剪定、除草を実施		街路樹の高木及び低木の剪定、除草を実施 緑ヶ丘中央線にて低木の補植を実施	54,098	61,055
		街路樹の高木及び低木の剪定、除草を実施			53,878	③実施継続

基本目標1. 快適な移動を支える都市の道路空間の整備

基本戦略1-③ 目的や役割に応じた効率的な道路整備

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要			実施主体		
15	a	○	都市計画道路※網の見直し	長期未着手の都市計画道路において、県が定めたガイドラインに基づき、近年の社会情勢の変化や、自転車や歩行者の通行状況も含めた沿道環境を考慮して、今ある道路の機能を有効に活用しつつ、都市計画道路網の見直しを実施する。			市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)		
市	市	都市計画道路網の見直しについて、委託業務を発注した。		平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性		
				都市計画道路網の見直し案について、住民説明会、パブリックコメントを行い、広報やホームページで公表し、都市計画審議会へ報告した。				—	実施予定なし
				都市計画法に基づく諸手続きを経て、平成28年7月22日に鴻池野里線、口酒井岩屋線の2路線を廃止した。			—	—	⑧完了
16	b	○	都市計画道路整備プログラムによる効率的で効果的な道路整備の推進	都市計画道路網の見直しと並行し、現行の都市計画道路整備プログラムを改定し、計画に基づき整備する。			市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)		
市	市	都市計画道路整備プログラムの改定について、委託業務を発注した。		平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性		
				都市計画道路整備プログラム案について、パブリックコメントを行ない、広報やホームページで公表し、平成28年2月に都市計画道路整備プログラムを策定した。				60,579	継続事業である(都)猪名川左岸線の整備を完了させる。
				継続事業である(都)猪名川左岸線の整備を推進した。			74,986	—	③実施継続
17	c	○	名神湾岸連絡線等の整備推進に向けた働きかけ	広域的なネットワーク形成に向けた働きかけを行う。			国		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)		
国	国	地域の意見聴取(第1回)により、地域及び道路交通の状況と課題を把握		平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性		
				・社会資本整備審議会道路分科会近畿地方小委員会において対応方針(案)の検討 ・地域の意見聴取(第2回)により、課題に対する対策の有効性及び対策案を検討する際に重視すべき事項を把握				×	詳細ルート・構造の検討
				・社会資本整備審議会道路分科会近畿地方小委員会において対応方針(案)の決定(概略ルート・構造)			×	—	①検討

基本目標1. 快適な移動を支える都市の道路空間の整備

基本戦略1-③ 目的や役割に応じた効率的な道路整備

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
18		○	橋梁の予防保全による安全性の確保と効率的な維持管理	橋梁の予防保全を実施する。 耐震診断を実施し、補修と併せた耐震補強を検討する。	市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	橋梁の補修工事を実施 橋梁数:4橋 橋梁の補修設計を委託 橋梁数:26橋		橋梁の補修工事を実施 橋梁数:6橋 橋梁の補修設計を委託 橋梁数:26橋	68,129	橋梁の補修工事を実施 橋梁数:25橋 橋梁の補修設計を委託 橋梁数:38橋 (内5施設耐震設計を含む)	135,000
				橋梁の補修工事を実施 橋梁数:33橋 橋梁の補修設計を委託 橋梁数:27橋	118,451	—	③実施継続

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
19		○	幹線道路の整備、ボトルネック※箇所の解消	生活道路における安全安心な通行空間を確保するため、ボトルネック箇所等の道路整備を実施する。 橋梁・トンネル・舗装等の道路施設点検を実施する。	市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	市道池尻寺本線、鴻池1131号線の整備を実施した。		中央6046号線、荒牧1007号線の整備を実施した。	9,051	市道山田野間北線、市道松ヶ丘3253号線、市道緑ヶ丘中央線、東有岡里道の整備を実施する。	53,307
				市道昆陽5429号線、市道南鈴原6198号線の整備を実施した。 市道山田野間北線の整備を推進した。	101,900	・都市計画道路のように法的拘束力がないため、民間開発等の事前協議や現地で更地の状況を確認し、地権者への合意形成を求めている。 ・予算化の手続きに時間を要する場合は、地権者との交渉がタイミングにより難航する場合がある。	③実施継続

基本目標1. 快適な移動を支える都市の道路空間の整備

基本戦略1-③ 目的や役割に応じた効率的な道路整備

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要			実施主体
20			渋滞交差点の解消	北村交差点、南町4交差点の整備を実施する。 道路の利用状況や渋滞状況を把握しながら、渋滞交差点解消に向けた整備を実施する。			県 市
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況	平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)	
			平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性	
県	県	<p>【北村交差点】 猪名川左岸線整備(市施工)により渋滞交差点を解消 (実施内容) ・桑津工区(平成23年度～) H26年度:用地購入、物件補償</p> <p>【南町4丁目交差点】 (一)西宮豊中線(都)園田西武庫線の整備により渋滞交差点を解消 (実施内容) ・御園工区(平成8年度～) H26年度:調査 ・藻川工区(平成22年度～) H26年度:橋梁下部工事</p>	<p>【北村交差点】 猪名川左岸線整備(市施工)により渋滞交差点を解消 (実施内容) ・桑津工区 道路拡幅工事(延長 L=207m)</p> <p>【南町4丁目交差点】 (一)西宮豊中線(都)園田西武庫線の整備により渋滞交差点を解消 (実施内容) ・御園工区 JR仮踏切工事 ・藻川工区 橋梁下部工事</p>	×	<p>【北村交差点】 猪名川左岸線整備により渋滞交差点を解消 (実施内容) ・桑津工区 道路拡幅工事(延長 L=280m)</p> <p>【南町4丁目交差点】 (一)西宮豊中線(都)園田西武庫線の整備により渋滞交差点を解消 (実施内容) ・御園工区 JRアンダー工事 ・藻川工区 橋梁下部工事</p>	×	
			<p>【北村交差点】 猪名川左岸線整備(市施工)により渋滞交差点を解消 (実施内容) ・桑津工区 物件補償、道路拡幅工事(延長 L=218m)</p> <p>【南町4丁目交差点】 (一)西宮豊中線(都)園田西武庫線の整備により渋滞交差点を解消 (実施内容) ・御園工区 JR仮踏切工事 ・藻川工区 橋梁下部工事</p>	×	—	③実施継続	
市	市	市道池尻寺本線の整備を実施した。	実施なし	—	実施予定なし	—	
			市道昆陽池鋳物師線の整備を実施した。	19,136	—	③実施継続	

基本目標1. 快適な移動を支える都市の道路空間の整備

基本戦略1-④ 環境に配慮した交通まちづくり

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要			実施主体
21		○	低公害車、低燃費車の利用促進の啓発	低公害車の普及・啓発を推進し、自動車排出ガスによる大気汚染を防止して、市民の健康の保護と生活環境の保全を図る。			市
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)
市	市	公用車における低公害車の導入を促した。		平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性
			公用車における低公害車の導入を促した。		—	公用車における低公害車の導入を促す。	—
			公用車における低公害車の導入を促した。		—	—	③実施継続

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要			実施主体
22		○	道路施設の省エネ化	自然エネルギーを利用した道路施設の導入や照明のLED化を推進する。			市
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)
市	市	街路灯のLED化を実施 LED化灯数：1,325灯		平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性
			街路灯のLED化を実施 LED化灯数：9,660灯 市内街路灯のLED化100%を達成		295,766	新たな取り組みなし。引き続きLED街路灯の維持管理を行う。	×
			新たな取り組みなし。引き続きLED街路灯の維持管理を行った。		×	—	③実施継続

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要			実施主体
23		○	運輸事業者のグリーン経営※の推進	グリーン経営の周知と推進を図る。			公共交通事業者 市
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)
市	交通局	「グリーン経営推進マニュアル」に基づき、エコドライブの実施といった7つの項目ごと取組基準を示し、この取組みにより環境保全にとどまらず、『燃費の向上』、『交通事故・車両事故の削減』、『職場のモラルや士気の向上』に加え、『社会的評価の向上』につなげていくことを目指している。		平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性
			アイドリングストップ・エコドライブの励行、環境に適合した低燃費かつ低排出ガス認定車7両を新規導入、寿命が長く消費電力の少ないLEDヘッドランプを2台に試験導入、エコキャップ運動、グリーンカーテン、猪名川清掃などに取り組んだ。		×	アイドリングストップ・エコドライブの励行、環境に適合した認定車で寿命が長く消費電力の少ないLEDヘッドランプを装備した4両を新規導入、寿命が長く消費電力の少ないLEDヘッドランプを20台に導入。エコキャップ運動、グリーンカーテン、猪名川清掃などに取り組む予定。	×
			アイドリングストップ・エコドライブの励行、環境に適合した認定車で寿命が長く消費電力の少ないLEDヘッドランプを装備した7両を新規導入、寿命が長く消費電力の少ないLEDヘッドランプを10台に導入。エコキャップ運動、グリーンカーテン、猪名川清掃などに取り組んだ。		×	エコドライブの実施において、平成26年度の燃費を基準年度とし、基準年度比1%の向上を目指しているが、現時点において達成できていない。	③実施継続
公共交通事業者	阪急バス	伊丹営業所：平成20年6月20日に認証取得。平成20年より、営業所毎の燃費改善率を競う「エコドライブコンテスト」を6・11月に実施している。			—	現在の取組みを継続する。	—
			継続して実施した。		—	伊丹営業所の他、5営業所で認証取得し、その後も認証継続している。	③実施継続
	阪神バス	実施なし			—	今後の実施について引き続き検討する。	—
			実施なし		—	—	①検討

基本目標1. 快適な移動を支える都市の道路空間の整備

基本戦略1-④ 環境に配慮した交通まちづくり

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
24		○	エコドライブ、アイドリングストップ等環境に配慮したクルマの使い方の普及啓発	公共交通の利用、エコドライブなど環境に配慮した交通のあり方について普及啓発を行います。	市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	阪神地域7市(神戸市・尼崎市・西宮市・芦屋市・伊丹市・宝塚市・川西市)で構成する「阪神地域ノーマイカーデー推進連絡会」において、ノーマイカーデーやアイドリングストップ運動等の環境に配慮した自動車運転の普及を広域的に推進した。		阪神地域7市(神戸市・尼崎市・西宮市・芦屋市・伊丹市・宝塚市・川西市)で構成する「阪神地域ノーマイカーデー推進連絡会」において、ノーマイカーデーやアイドリングストップ運動等の環境に配慮した自動車運転の普及を広域的に推進した。	×	阪神地域7市(神戸市・尼崎市・西宮市・芦屋市・伊丹市・宝塚市・川西市)で構成する「阪神地域ノーマイカーデー推進連絡会」において、ノーマイカーデーやアイドリングストップ運動等の環境に配慮した自動車運転の普及を広域的に推進する。	×
				阪神地域7市(神戸市・尼崎市・西宮市・芦屋市・伊丹市・宝塚市・川西市)で構成する「阪神地域ノーマイカーデー推進連絡会」において、ノーマイカーデーやアイドリングストップ運動等の環境に配慮した自動車運転の普及を広域的に推進した。	×	継続して啓発を行っているが、効果を把握することが難しい。	③実施継続
整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
25			環境負荷の少ない道路工事や環境に配慮した舗装(低騒音・排水・透水性・遮熱性等)の推進	道路工事に際して、環境負荷の少ない工法等の導入を検討し、都市計画道路整備事業では、引続きヒートアイランド対策など環境に配慮した舗装を実施する。	市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	(都)猪名川左岸線、市道昆陽5429号線、市道昆陽池鋳物師線の整備を推進した。		(都)猪名川左岸線、市道昆陽5429号線、市道昆陽池千僧線の整備を推進した。	183,840	(都)猪名川左岸線、市道昆陽池千僧線の整備を完了させる。	114,283
				市道昆陽5429号線の整備を実施した。 (都)猪名川左岸線、市道昆陽池千僧線の整備を推進した。	289,880	—	③実施継続
整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
再掲20 P10 参照			渋滞交差点の解消【再掲】	北村交差点、南町4交差点の整備を実施する。 道路の利用状況や渋滞状況を把握しながら、渋滞交差点解消に向けた整備を実施する。	県 市		

基本目標2. 交流を支える公共交通の充実

基本戦略2-① 鉄道利便性の向上

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
再掲2 P1 参照		○	既存駐輪場の再整備【再掲】	利用しやすい駐輪場として再整備し、自転車利用者の自律を促す。	市		
26			乗換案内等の充実(デジタルサイネージの設置等)	外国人観光客向けのサイン表示や、高齢者、障がい者にも利用しやすいデジタルサイネージ等を利用した乗り換え情報の充実を図る。	公共交通事業者 市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	JR伊丹駅構内に市営バス時刻表を表示するデジタルサイネージを1機設置済み		阪急伊丹駅前市営バス総合案内板の今後のあり方について、観光案内・インバウンドを視野に関係部局と協議を行った。	—	阪急伊丹駅前の市営バス総合案内板をユニバーサルデザインに対応した総合的な情報を取扱うデジタルサイネージへリニューアルする。	20,500
				阪急伊丹駅前市営バス総合案内板の今後のあり方について、観光案内・インバウンドを視野に関係部局と協議を行った。	—	—	④拡大
市	交通局	阪急伊丹駅前市営バス総合案内板の経年劣化、システムの老朽化により故障が目立っている。阪急伊丹駅前案内所職員による、行き先、乗り場案内を行っている。また、JR伊丹駅においては、観光物産ギャラリーにおいて、バスについての案内等の対応をしていただいている。		阪急伊丹駅前市営バス総合案内板の今後のあり方について、観光案内・インバウンドを視野に関係部局と協議を行った。	—	阪急伊丹駅前市営バス総合案内板を市バス案内だけではなく、駅前案内、観光案内、施設案内、市バス案内等、インバウンドを主眼に置いた新たな掲示板(デジタルサイネージ)としてリニューアルするため、コンテンツ提供の方法について協議が必要。	×
				阪急伊丹駅前市営バス総合案内板の今後のあり方について、観光案内・インバウンドを視野に関係部局と協議を行った。	×	デジタルサイネージと今後予定されているバスロケーションシステム導入に向けて、必要な機能やお客様へのコンテンツの提供の方法について、協議が必要。	③実施継続
公共交通事業者	西日本旅客鉄道	国内外の全てのお客様が便利・快適に当社をご利用いただけるよう、随時、駅や車両の改良に取り組んでいる。		国内外の全てのお客様が便利・快適に当社をご利用いただけるよう、随時、駅や車両の改良に取り組んでいる。	×	国内外の全てのお客様が便利・快適に当社をご利用いただけるよう、随時、駅や車両の改良に取り組んでいく。	×
				国内外の全てのお客様が便利・快適に当社をご利用いただけるよう、随時、駅や車両の改良に取り組んでいる。	×	全社で取り組んでいる。	③実施継続
	阪急電鉄	すべてのお客様が利用しやすい情報提供に努めている。		すべてのお客様が利用しやすい情報提供に努めている。	×	すべてのお客様が利用しやすい情報提供に努めていく。	×
				すべてのお客様が利用しやすい情報提供に努めている。	×	バスロケーションシステム地上案内モニター設置 2015年度末：高槻市駅 高槻市バス 2015年度末：茨木市駅 京阪バス 2016年度末：高槻市駅 京阪バス	③実施継続
阪急バス	実施なし		実施なし	—	—	調査研究を行う。	—
			実施なし	—	—	乗換案内を充実するためには、各エリアで総合的に展開する必要があり、案内内容や費用負担について関係者調整に時間を要する。	①検討

基本目標2. 交流を支える公共交通の充実

基本戦略2-① 鉄道利便性の向上

整理番号26続き

実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況	平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)
			平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性
公共交通事業者	阪神バス	実施なし	実施なし	—	デジタルサイネージ等を設置するのに適した地域があるか、引き続き検討する。	—
			実施なし	—	尼崎市内の駅前ターミナル等において、デジタルサイネージ式の発車時刻案内装置を設置し、バスロケーションシステムと連動させてバス走行位置を情報表示したり、日英2カ国語表示にも対応させるなどしている。	①検討
	関西エアポート	空港館内全体において、多言語化やユニバーサルデザインを活用したサイン表示を実施。到着ロビーにおいては、デジタルサイネージを利用した地上交通機関への乗り換え情報の充実を図った。	空港館内全体において、多言語化やユニバーサルデザインを活用したサイン表示を実施。到着ロビーにおいては、デジタルサイネージを利用した地上交通機関への乗り換え情報の充実を図った。	×	改修工事の影響により乗り換え動線が変更となった箇所については、ピクトグラムを活用した仮設サインを設置。 平成30年度の改修工事先行オープン時に向けて、到着ロビーに設置するデジタルサイネージを含めた空港全体のサイン計画の検討を図る。	×
			空港館内全体において、多言語化やユニバーサルデザインを活用したサイン標記を実施。到着ロビーにおいては、デジタルサイネージを利用した地上交通機関への乗り換え情報の充実を図った。	×	他の交通機関とのサイン表示の統一が課題である。	④拡大

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体	
27			ホームでの安全性の確保	鉄道事業者と連携して、市内各駅での安全性の確保をめざす。	鉄道事業者	
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況	平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)
公共交通事業者	西日本旅客鉄道	ハード、ソフト面で対策を行っている。	ハード、ソフト面で対策を行っている。	×	ハード、ソフト面で対策を行っていく。	×
			ハード、ソフト面で対策を行っている。	×	・ホーム非常ボタンの設置 ・ホームベンチの向きの変更…など実施している。	③実施継続
	阪急電鉄	市内3駅(稲野駅・新伊丹駅・伊丹駅)とも、内方線付き点状ブロックについて整備済み	新たな取組みなし	—	伊丹駅(頭端駅)線路終端部側の列車の止まらない箇所への固定柵設置	×
			新たな取組みなし	—	「駅・ホーム縁端部視認性向上のためのWG(仮称)」の動向を踏まえ、CPラインの各駅への設置について検討中	④拡大

基本目標2. 交流を支える公共交通の充実

基本戦略2-② バス利便性の向上

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
29	a		都市間交通のための新たなバス路線の検討	市民の移動に合わせた都市間交通としての、新たなバス路線を検討する。	市 公共交通事業者		
実施主体 市	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
		実施なし	実施なし	—	—	引続き、市民の移動に合わせた都市間交通として、新たなバス路線の検討を行う。	—
	市	交通局	乗降調査を行い次期ダイヤ改正に向けて検証する。	平成26年度に全路線での乗降客数調査・市バスアンケートを実施、その調査結果をもとに9月に効率性の高い運行を目指し全面ダイヤ改正を実施した。但し、新設路線はなし。	×	・市の総合交通計画に則り、乗降調査を行い次期ダイヤ改正に向けて検証する。	×
				・現行ダイヤの一部改正時に、市西部から塚口駅を結ぶ新規路線の運行を試行的に開始。	×	他地域への乗り入れについては、新たな停留所の確保等で難しい点がある。	③実施継続
公共交通事業者	阪急バス	実施なし	実施なし	—	調査研究を行う。	—	
			実施なし	—	新規路線は投資が伴うため、採算性が大きく問われる。また、バス運転士の確保が困難になっており、新たな路線の開設はハードルが高い。	①検討	
	阪神バス	実施なし	実施なし	—	市西部と阪急武庫之荘駅を結ぶ路線の検討を実施する。	×	
			実施なし	—	武庫之荘駅前ターミナルの整備等、尼崎市の協力も得ながら検討を進める必要がある。	①検討	

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
30	b	○	バスロケーションシステム※の導入	利用者へ運行情報を提供し、バス待ち環境を向上させる為のシステムを導入する。	市		
実施主体 市	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
		実施なし	実施なし	—	—	引続き、市営バスへのバスロケーションシステムの導入に向けた検討を行う。	—
		市営バスへのバスロケーションシステムの導入に向けた検討を実施した。	—	—	①検討		

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
31	c		サイクル&バスライド※駐輪場の整備	市バス停留所隣接の駐輪場設備を整備する。	市		
実施主体 市	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
		8ヶ所 約345台	新たな取り組みなし 新たな取り組みなし	—	—	新たな設置箇所の検討を行う。 ニーズの把握及び道路占用許可基準を満たした道路もしくは、道路外で適当な用地を確保する必要がある。	①検討

基本目標2. 交流を支える公共交通の充実

基本戦略2-② バス利便性の向上

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体
再掲51 P25 参照	a	○	J R伊丹駅および阪急伊丹駅と伊丹空港を結ぶバスの利便性向上(「伊丹空港ライナー」の運行)とP R(基本戦略3-②参照)【再掲】	鉄道駅、バスターミナルのインバウンド※対策として乗り場案内、時刻表等を示し、バス停の案内についてもわかりやすい表示に改良する。 空港利用者にとって利便性の高い車両によってJR伊丹駅および阪急伊丹駅と空港を結ぶことにより、周辺地域のにぎわいづくりにつなげる。	市

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
32			需要に応じたバスネットワークおよび運行ダイヤの見直し	走行環境や利用実態の変化に対応した効率の良いダイヤへ見直す。	市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市交通局	乗降調査を行い次期ダイヤ改正に向けて検証する。		平成26年度に全路線での乗降客数調査・市バスアンケートを実施、その調査結果をもとに9月に効率性の高い運行を目指し全面ダイヤ改正を実施した。 ・現行ダイヤの一部改正(鴻池東線の延長・試行的に、新規路線の運行開始)。	× ×	・市の総合交通計画に則り、乗降調査を行い次期ダイヤ改正に向けて検証する。	× ③実施継続

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体
再掲13 P7 参照			バス停の改良(上屋およびベンチの設置)【再掲】	バス停の上屋やベンチ、従来型ベンチでは道路占有許可基準※を満たさないバス停での省スペースの収納式ベンチの設置を進め、バス待ち環境の改善を図るとともに、歩行者の休憩場所として活用する。	市

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
33			市営バスへの運営支援のあり方の検討	今後も路線を維持していくために必要な支援のあり方を検討する。	市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	補助基準に基づき補助を実施。 ・営業係数125以上の不採算路線について収支不足額の1/2を一般会計から補助 平成26年度 126,190千円		補助基準に基づき補助を実施。 ・営業係数125以上の不採算路線について収支不足額の1/2を一般会計から補助 平成27年度 126,882千円	126,882	補助基準に基づき補助を実施。 ・営業係数125以上の不採算路線について収支不足額の1/2を一般会計から補助 平成29年度 117,888千円	117,888
		補助基準に基づき補助を実施。 ・営業係数125以上の不採算路線について収支不足額の1/2を一般会計から補助 平成28年度 141,287千円		補助基準に基づき補助を実施。 ・営業係数125以上の不採算路線について収支不足額の1/2を一般会計から補助 平成28年度 141,287千円	141,287	現行の補助基準の見直し、平成30年度より新しい補助基準に基づき、補助を実施予定。	③実施継続

基本目標2. 交流を支える公共交通の充実

基本戦略2-③ ユニバーサルデザイン(バリアフリー化)の推進

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要			実施主体
35		○	高齢者、障がい者等の公共交通運賃減免や高齢者パスの維持	高齢者・障がい者等に市バスの無料乗車証および福祉タクシーの基本料金分を助成するタクシーチケットを交付し、外出支援および経済的負担軽減を行う。			市
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)
市	市	高齢者や障がい者等に対して、伊丹市バスが無料になる特別乗車証または福祉タクシーの基本料金分を助成するタクシー利用券を交付(交付人数:市バス特別乗車証29,062人・タクシー利用券1,562人)		平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	引き続き、高齢者や障がい者等に対して、伊丹市バスが無料になる特別乗車証または福祉タクシーの基本料金分を助成するタクシー利用券を交付する。	H29年度施策の方向性
				高齢者や障がい者等に対して、伊丹市バスが無料になる特別乗車証または福祉タクシーの基本料金分を助成するタクシー利用券を交付(交付人数:市バス特別乗車証28,543人・タクシー利用券1,566人)	611,095		
				高齢者や障がい者等に対して、伊丹市バスが無料になる特別乗車証または福祉タクシーの基本料金分を助成するタクシー利用券を交付(交付人数:市バス特別乗車証29,965人・タクシー利用券1,494人)	610,697	効果の測定方法	③実施継続

基本目標2. 交流を支える公共交通の充実

基本戦略2-③ ユニバーサルデザイン(バリアフリー化)の推進

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
36			駅舎・駅周辺道路のバリアフリー化とバリアフリー対応車両の拡充	一定バリアフリー化は完了しており、適切な維持管理が必要となる。 市営バスは、既に全車両ノンステップバスに更新済みで、更新車両が対象となる。 公共交通事業者においては、バリアフリー対応車両の拡充を推進する。	市 公共交通事業者		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	適切な維持管理を実施		適切な維持管理を実施	—	適切な維持管理を実施	—
		適切な維持管理を実施		適切な維持管理を実施	—	—	③実施継続
市	交通局	路線バス全車両のノンステップ化が完了している。		更新車両7両全てをノンステップバスとした。	147,133	更新車両4両について、ノンステップバスを導入する。	95,920
				更新車両7両全てをノンステップバスとした。	151,060	—	③実施継続
公共交通事業者	西日本旅客鉄道	国の指針を基に、地元自治体の協力を受け、随時設置を行っている。 伊丹市内の2駅は設置済み。		国の指針を基に、地元自治体の協力を受け、随時設置を行っている。 伊丹市内の2駅は設置済み。	×	国の指針を基に、地元自治体の協力を受け、随時設置を行っている。 伊丹市内の2駅は設置済み。	×
				国の指針を基に、地元自治体の協力を受け、随時設置を行っている。 伊丹市内の2駅は設置済み。	×	伊丹・北伊丹駅ともバリアフリー化完了	③実施継続
	阪急電鉄	市内3駅(稲野駅・新伊丹駅・伊丹駅)とも、一定のバリアフリー化は完了。		新たな取組みなし	—	新たな取組みについて、実施予定なし	—
				新たな取組みなし	—	今後、バリアフリー対応車両の導入を進めて行く計画	③実施継続
	阪急バス	実施なし		実施なし	—	市と当社にて、現状における問題点の情報共有を行う。	—
				実施なし	—	地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用しながら、ノンステップバスの導入に取り組んでいる。	①検討
阪神バス	一般路線におけるノンステップバス割合13.1%		一般路線におけるノンステップバス割合13.9%	22,753	一般路線におけるノンステップバス割合56.9%(予定)	96,000	
			一般路線におけるノンステップバス割合55.2% ※旧尼崎市交通局路線譲受により、ノンステップ率が向上	44,634	尼崎市内線を走行するバスのノンステップ率は、路線譲受時以降も100%を維持している。 伊丹市内を走行する既存路線用バスのノンステップ率は、29年度末で17.1%となる予定。	③実施継続	

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体
再掲26 P13 参照			乗換案内等の充実(デジタルサイネージ※の設置等)【再掲】	外国人観光客向けのサイン表示や、高齢者・障がい者にも利用しやすいデジタルサイネージ等を利用した乗り換え情報の充実を図る。	公共交通事業者 市

基本目標2. 交流を支える公共交通の充実

基本戦略2-④ 公共交通の利用促進

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要			実施主体
37	a	○	モビリティ・マネジメント※の実施(住民、企業、学校、転入者等)	「ノーマイカーデー」の参加推進や、地域協働による「のりものゲーム」等を学校で教材として利用し、住民一人ひとりや社会全体で望ましい移動のあり方について考え、環境や健康に配慮して自転車や公共交通利用へ転換を図る。			公共交通事業者 市
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)
				平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性
市	市	実施なし		実施なし	—	小学校の授業に取入れやすい教材を作成する。	—
	交通局	5月の緑化フェア、9月のスルッとKANSAIバスまつり、10月のわくわくミニフェア(イオンイベント)へ参加。		5月の緑化フェア、9月のスルッとKANSAIバスまつり、10月のわくわくミニフェア(イオンイベント)へ参加。	×	5月の緑化フェアへ参加、9月のスルッとKANSAIバスまつりへ参加予定。	×
公共交通事業者	西日本旅客鉄道	国や各自治体、沿線住民の皆様の活動に協力している。(交通政策に関する協議会などに参加)		国や各自治体、沿線住民の皆様の活動に協力している。(交通政策に関する協議会などに参加)	×	国や各自治体、沿線住民の皆様の活動に協力していく。(交通政策に関する協議会などに参加)	×
		国や各自治体、沿線住民の皆様の活動に協力している。(交通政策に関する協議会などに参加)		国や各自治体、沿線住民の皆様の活動に協力している。(交通政策に関する協議会などに参加)	×	全社で取り組んでいる。	③実施継続
	阪急電鉄	阪急伊丹駅、新伊丹駅に駐輪場を設置(有料)し、自転車と公共交通の利用促進を図っている。		阪急伊丹駅、新伊丹駅に駐輪場を設置(有料)し、自転車と公共交通の利用促進を図っている。	×	引続き、阪急伊丹駅、新伊丹駅に駐輪場を設置(有料)し、自転車と公共交通の利用促進を図っていく。	×
		阪急伊丹駅、新伊丹駅に駐輪場を設置(有料)し、自転車と公共交通の利用促進を図っている。		阪急伊丹駅、新伊丹駅に駐輪場を設置(有料)し、自転車と公共交通の利用促進を図っている。	×	他市では、阪急沿線でレンタサイクル事業を展開している。	③実施継続
	阪急バス	実施なし		実施なし	—	市にて当社沿線の学校で調整し、希望する学校があれば実施に向け検討する。	—
		実施なし		実施なし	—	これまでに川西市・猪名川町・西宮市・長岡京市で、小学生対象の乗り方教室を開催している。	①検討
	阪神バス	実施なし		実施なし	—	市内で実施可能な地域等があるか、行政の協力も得ながら、引き続き検討していく。	—
		実施なし		実施なし	—	他市においては、企業に対するモビリティマネジメントの取り組みを現在推進しているケースもあり、当社も協力している。	①検討
	関西エアポート	・小学生社会見学 21校 1,605人参加 ・空の日(9月28日実施) 来場者約30,000人 ・ウォーキングイベント(11月26日実施) 203人参加		・小学生社会見学 13校 717人参加 ・空の日(10月18日実施) 来場者約18,000人 ・ウォーキングイベント(12月5日実施) 250人参加	×	・改修工事のため社会見学実施なし ・空の日(10月14日実施予定) ・ウォーキングイベント 日程未定 ・大阪国際空港内に、原則として空港従業員対象に設けていた仮設駐輪場(無料)を廃止し、誰でも利用できる駐輪場・バイク置場(有料)を設置する。	×
		・小学生社会見学 18校 1,227人参加 ・空の日(10月22日実施) 来場者約16,700人 ・ウォーキングイベント(3月11日実施) 273人参加		・小学生社会見学 18校 1,227人参加 ・空の日(10月22日実施) 来場者約16,700人 ・ウォーキングイベント(3月11日実施) 273人参加	×	—	④拡大

基本目標2. 交流を支える公共交通の充実

基本戦略2-④ 公共交通の利用促進

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要			実施主体
38		○	公共交通事業者への市内観光イベントの情報提供および各種イベント会場までの公共交通を利用したアクセス方法の情報提供	各種、イベント主催者、会場となる施設と連携した情報提供を検討する。 「清酒発祥の地 伊丹」の中心市街地に展開する多種多様な飲食店を巡る食べ歩き・飲み歩きイベントや、「いたみ花火大会」「いたみまちななかバル」などの情報誌への掲載を検討する。			市
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)
市	市	各種イベント案内に、公共交通を利用したアクセス方法の情報を掲載した。	平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性	
			各種イベント案内に、公共交通を利用したアクセス方法の情報を掲載した。	×	イベント参加時に公共交通機関を利用してもらえるように、公共交通事業者が持つ広告媒体へイベント情報及びアクセス方法を掲載してもらえるよう働きかける。	×	
			各種イベント案内に、公共交通を利用したアクセス方法の情報を掲載した。	×	—	③実施継続	

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要			実施主体
39		○	バスの乗り方教室やバス車内に児童の絵画を展示	運転手によるバス車両を持ち込んでの、乗り方やマナーの実演講座や、イベントで描いていただいたぬり絵のバス車内展示を実施する。			公共交通事業者 市
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)
市	交通局	・出前講座を実施し、市内12の小学校で1,392名、1高等学校で140名の合計1,532名の参加。 ・緑化フェアとわくわくミニフェア(イオンイベント)で子どもたちが描いたぬり絵をバス車内に展示したギャラリーバスの運行。	平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性	
			・出前講座を実施し、市内の1幼稚園で92名、11小学校で1,241名、1高等学校で149名1市民団体14名の合計1,496名の参加。 ・緑化フェアとわくわくミニフェア(イオンイベント)で子どもたちが描いたぬり絵をバス車内に展示したギャラリーバスの運行。	×	引き続き、市内の小学校1・2年生を対象にバスの乗車マナー等を学ぶ出前講座「気がつくキッズ」を開催予定。	×	
			・出前講座を実施し、市内11の小学校で1,294名、1高等学校で130名の合計1,424名の参加。 ・緑化フェアとわくわくミニフェア(イオンイベント)で子どもたちが描いたぬり絵をバス車内に展示したギャラリーバスの運行。	×	道路幅員が狭いといった立地上の理由で、バス車両が通行出来ず、実施できない学校での実施に向けての実施方法と、出前講座を経験してもらった後、いかに将来の利用者となってもらえるか。	③実施継続	
公共交通事業者	阪急バス	実施なし	実施なし	—	市にて当社沿線の学校で調整し、希望する学校があれば実施に向け検討する。	—	
		実施なし	実施なし	—	これまでに川西市・猪名川町・西宮市・長岡京市で、小学生対象の乗り方教室を開催している。	①検討	
	阪神バス	実施なし	実施なし	—	市内で実施可能な地域等があるか、引き続き検討する。	—	
		実施なし	実施なし	—	他市においては、バス車両を用いたマナー教室開催等の実績もある。	①検討	

基本目標2. 交流を支える公共交通の充実

基本戦略2-④ 公共交通の利用促進

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体	
40		○	市バスオリジナルグッズの製作・販売	オリジナルグッズにより、地域の公共交通をより身近に感じてもらい、親しみを持ってもらう。	市	
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況			H29予算(千円)	
市	交通局	H24年度に製作の、①マフラータオル②ジャガードタオルをはじめ、③クラブバスラマ④オリジナル缶バッジ⑤スルッとKANSAIミニ文具セットを販売。	平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29年度施策の方向性
			平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	
			①マフラータオル②ジャガードタオル③クラブバスラマ④オリジナル缶バッジ⑤スルッとKANSAIミニ文具セットを販売。	×	①マフラータオル②ジャガードタオル③クラブバスラマ④オリジナル缶バッジ⑤スルッとKANSAIミニ文具セットを販売予定。	×
			①マフラータオル②ジャガードタオルをはじめ、③クラブバスラマ④オリジナル缶バッジ⑤スルッとKANSAIミニ文具セットを販売。	×	市バス70周年に向けて、PR活動促進の方法と捉え、新たなグッズの製作を検討する。	③実施継続
再掲35 P17 参照		○	高齢者、障がい者等の公共交通運賃減免や高齢者バスの維持【再掲】	高齢者・障がい者等に市バスの無料乗車証および福祉タクシーの基本料金分を助成するタクシーチケットを交付し、外出支援および経済的負担軽減を行う。	市	
41			商業事業者と連携したサービスの導入	商業事業者と連携した公共交通利用者に対するサービスの導入等により、公共交通利用促進の取り組みを行う。	商業事業者 市	
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況			H29予算(千円)	
市	市	市交通局では、市営バスICカード『itappy(イタッピー)』を提携店舗や施設で提示すると、通常価格からの割引やサービスを何度でも受けることができる取組みを実施	平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29年度施策の方向性
			平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	
			引続き、市交通局では、市営バスICカード『itappy(イタッピー)』を提携店舗や施設で提示すると、通常価格からの割引やサービスを何度でも受けることができる取組みを実施	—	商業事業者と連携した公共交通利用者に対する更なるサービスの導入等に向けて、検討を行う。	—
			引続き、市交通局では、市営バスICカード『itappy(イタッピー)』を提携店舗や施設で提示すると、通常価格からの割引やサービスを何度でも受けることができる取組みを実施	—	—	③実施継続
再掲33 P16 参照			市営バスへの運営支援のあり方の検討【再掲】	今後も路線を維持していくために必要な支援のあり方を検討する。	市	
42			インバウンド※対策を含むわかりやすい情報提供の充実	定時性や二酸化炭素排出量が少ないことなどをPRし、公共交通の利用を促進し、増加が予想される外国人旅行者向けに、多言語による表記やサインや広報媒体による情報提供を行う。	市	
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況			H29予算(千円)	
市	市	実施なし	平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29年度施策の方向性
			平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	
			実施なし	—	インバウンド対応を含む、公共交通のわかりやすい情報提供のあり方について、調査・研究を行う。	—
			実施なし	—	—	①検討

基本目標2. 交流を支える公共交通の充実

基本戦略2-④ 公共交通の利用促進

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
43			鉄道とバスや、バスとバスでの乗継割引制度の維持と検討	各公共交通事業者と連携し、乗継割引制度の導入について検討する。市営バスについては現行の乗継割引を維持しつつ、より利用しやすい制度を検討する。	市 公共交通事業者		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	各公共交通事業者と連携した乗継割引制度は実施していない。市営バスについては、乗継割引を実施。		新たな取り組みなし。市営バスについては、乗継割引を引続き実施。	×	各公共交通事業者と連携した乗継割引制度の導入に向けて検討を行う。	×
		各公共交通事業者と連携した乗継割引制度は実施していない。市営バスについては、乗継割引を実施。		新たな取り組みなし。市営バスについては、乗継割引を引続き実施。	×	—	③実施継続
市	交通局	各公共交通事業者と連携した乗継割引制度は実施していない。市営バスについては、乗継割引を実施。		新たな取り組みなし。市営バスについては、乗継割引を引続き実施。	×	各公共交通事業者と連携した乗継割引制度の導入に向けて検討を行う。	×
		各公共交通事業者と連携した乗継割引制度は実施していない。市営バスについては、乗継割引を実施。		新たな取り組みなし。市営バスについては、乗継割引を引続き実施。	×	—	③実施継続
公共交通事業者	西日本旅客鉄道	導入なし		導入なし	×	導入する予定無し	×
		導入なし		導入なし	×	割引をするだけでは、新たに鉄道・バスをご利用いただけるお客様が増えるとは考えにくい。具体的な数値があれば、収益性・将来性を含めて検討する。	⑦要見直し
	阪急電鉄	・2006年から、自社グループ発行のクレジット一体型PiTaPa(現Stacia PiTaPa)を対象として、土日祝の同一日にPiTaPa機能で電車※とバス※を2回ずつ利用いただくと、Sポイントを100ポイント(100円相当。小児は半分。)付与する。 ※阪急電鉄、阪神電気鉄道、能勢電鉄、北大阪急行電鉄、北神急行電鉄、阪急バス、阪神バス、阪急田園バス ・年度における総適用件数 264,865件 ・年度における当社分担費 17,837千円		・2006年から、自社グループ発行のクレジット一体型PiTaPa(現Stacia PiTaPa)を対象として、土日祝の同一日にPiTaPa機能で電車※とバス※を2回ずつ利用いただくと、Sポイントを100ポイント(100円相当。小児は半分。)付与する。 ※阪急電鉄、阪神電気鉄道、能勢電鉄、北大阪急行電鉄、北神急行電鉄、阪急バス、阪神バス、阪急田園バス ・年度における総適用件数 284,602件	17,259千円	・2006年から、自社グループ発行のクレジット一体型PiTaPa(現Stacia PiTaPa)を対象として、土日祝の同一日にPiTaPa機能で電車※とバス※を2回ずつ利用いただくと、Sポイントを100ポイント(100円相当。小児は半分。)付与する。 ※阪急電鉄、阪神電気鉄道、能勢電鉄、北大阪急行電鉄、北神急行電鉄、阪急バス、阪神バス、阪急田園バス	×
		・2006年から、自社グループ発行のクレジット一体型PiTaPa(現Stacia PiTaPa)を対象として、土日祝の同一日にPiTaPa機能で電車※とバス※を2回ずつ利用いただくと、Sポイントを100ポイント(100円相当。小児は半分。)付与する。 ※阪急電鉄、阪神電気鉄道、能勢電鉄、北大阪急行電鉄、北神急行電鉄、阪急バス、阪神バス、阪急田園バス ・年度における総適用件数 317,197件		・2006年から、自社グループ発行のクレジット一体型PiTaPa(現Stacia PiTaPa)を対象として、土日祝の同一日にPiTaPa機能で電車※とバス※を2回ずつ利用いただくと、Sポイントを100ポイント(100円相当。小児は半分。)付与する。 ※阪急電鉄、阪神電気鉄道、能勢電鉄、北大阪急行電鉄、北神急行電鉄、阪急バス、阪神バス、阪急田園バス ・年度における総適用件数 317,197件	18,913千円	—	③実施継続
	阪急バス	実施なし		実施なし	—	調査研究を行う。	—
		実施なし		実施なし	—	割引原資の負担のあり方が最重要課題で、乗継利用と往復利用の判別方法も大きな課題となる。また、ICカードも対象とする場合は、莫大なシステム改修費が伴うが、費用負担のあり方が課題となる。	①検討
阪神バス	平成24年度に阪急バスと共同でICカード「hanica」を導入しており、チャージ額に対して10%のプレミアを付与している。		hanica定期券(グランドバス含む)において、阪急バスの同じ運賃区間内であれば相互利用できる制度を導入した。	×	現在提供している施策については継続して実施していくが、さらなる制度の拡充については慎重に検討していく。	—	
	平成24年度に阪急バスと共同でICカード「hanica」を導入しており、チャージ額に対して10%のプレミアを付与している。		旧尼崎市交通局路線を譲受したことで、同路線においては、バスからバスへの乗り継ぎ利用に対する割引制度を継続して提供している。	×	乗継割引制度については、減収要素が大きいため、実施について慎重に検討することが必要	③実施継続	

基本目標2. 交流を支える公共交通の充実

基本戦略2-④ 公共交通の利用促進

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要				実施主体
44			自転車におけるエコ通勤優良事業所認定制度の創設や公共交通顕彰制度の創設(エコ通勤優良事業所認定制度登録支援)	自転車におけるエコ通勤優良事業所認定制度の創設やエコ通勤優良事業所認定制度登録について支援を検討する。				市
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)	
市	市	実施なし		平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性	
				実施なし	—	自転車におけるエコ通勤優良事業所認証制度の創設や公共交通顕彰制度の創設(エコ通勤優良事業所認定制度登録支援)について、調査・研究を行う。	—	
				実施なし	—	—	①検討	

基本目標3. 中心市街地の回遊性とにぎわいの向上

基本戦略3-① 中心市街地回遊性の向上

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
46	a		中央伊丹線のフルモール化の検討	(都)中央伊丹線について、地域の合意形成を図りながら実施について検討する。	市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	実施なし		実施なし 早期実現が困難であることが判明したため、後期で検討することを決定した。	— —	— —	— ⑦要見直し

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
47	b		無電柱化による快適な歩行空間の整備	道路の電柱をなくし電線等を地下等にまとめて収容することで、安全で快適な歩行空間を確保する。 都市計画道路※整備事業と併せて検討する。 中心市街地の4極2軸路線は、伊丹酒蔵通りをはじめ景観重点地区に指定されており、地域及び電線管理者の合意形成を図りながら実施に向けて協議する。	市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	実施なし		実施なし 市道宮ノ前線他電線共同溝整備事業の設計に向けて調査を行った。	— —	市道宮ノ前線他電線共同溝整備事業の設計を実施する。 ・中心市街地では、年間を通じて様々なイベントが行われるため、施工方法や地上機器の設置場所等について、十分な地元協議を要す。 ・無電柱化は、整備費用が高額となるため、低コスト手法の早期実用化について、国の動向を踏まえながら検討を要す。	22,067 ③実施継続

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
48			超小型モビリティ※のレンタル利用の導入検討	JR伊丹駅および阪急伊丹駅周辺にポートを設置し、クルマの通行を抑制し、レンタルモビリティで両駅間を歩き来してもらい、中心市街地の活性化につなげる。	市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	実施なし		実施なし 本施策は(都)中央伊丹線のフルモール化と併せて実施することが望ましいため、後期で検討することを決定した。	— —	— —	— ⑦要見直し

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
49			自転車押し歩き区間の設定	自転車の押し歩き区間を設定し、歩行者通行空間を整備する。	市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	実施なし		実施なし 中心市街地での押し歩き区間の設定を検討したが、道路形状等の課題から、押し歩きの推奨にとどめることとした。阪急・JR伊丹駅両駅前に表示シートを設置。	× 132	伊丹警察署と連携し、押し歩き推奨の街頭啓発活動を行う。 —	× ③実施継続

基本目標3. 中心市街地の回遊性とにぎわいの向上

基本戦略3-② 空港を活かしたまちづくり

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
51	a	○	JR伊丹駅および阪急伊丹駅と伊丹空港を結ぶバスの利便性向上(「伊丹空港ライナー」の運行)とPR	鉄道駅、バスターミナルのインバウンド※対策として乗り場案内、時刻表等を示し、バス停の案内についてもわかりやすい表示に改良する。 空港利用者にとって利便性の高い車両によってJR伊丹駅および阪急伊丹駅と空港を結ぶことにより、周辺地域のにぎわいづくりにつなげる。	市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	空港アクセスバスのPRとして、下記事項を実施した。 ①ラッピングした市営バスの運行 ②潜在的な需要が見込まれる尼崎市北部等へのチラシ・ポスターの配布 ③新関西国際空港株式会社と連携して、空港ターミナル内へポスターを掲示		空港アクセスバスのPR及び利便性向上のため、下記事項を実施した。 ①ラッピングした市営バスの運行を継続 ②近隣JR駅構内及び市営バス車内に、ダイヤ改正の告知を兼ねたポスターの掲出 ③市内転入者等へのチラシ・時刻表の配付 ④新関西国際空港株式会社と連携して、空港ターミナル内へポスターを掲示 ⑤JR伊丹駅等の空港行きバス停及びその周辺に案内表示の設置	2,040	引続き、空港アクセスバスのPRを行う。また、空港アクセスバスの利用実態調査を実施し、利用者ニーズの把握・分析を行う。	—
				空港アクセスバスのPR及び利便性向上のため、下記事項を実施した。 ①ラッピングした市営バスの運行を継続 ②近隣JR各駅構内及び市営バス車内に、ポスターを掲出 ③市内転入者等への時刻表の配付 ④オリジナル絆創膏及びポケット時刻表(ともに英語併記)を近隣市の旅行代理店や市内各施設に設置 ⑤関西エアポート株式会社と連携して、空港ターミナル内へポスターを掲示 ⑥JR伊丹駅空港行きバス停を改良 ⑦阪急伊丹駅空港行きバス停に案内表示を設置	15,711	採算性を踏まえた上で、利便性の向上に努める必要がある。	③実施継続

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
52		○	空港利用者に対する伊丹市の魅力発信	県と市で協力して、ターミナル改修後に地元PRコーナーの確保を働きかける。	県市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
県市	県市	空港運営事業者により地元PRコーナーとして、大阪国際空港南北ターミナル1階総合案内所横(計2か所)にPRパンフレット用ラックを無償にて設置(平成26年7月1日より設置)。		引き続き、空港運営事業者により地元PRコーナーとして、大阪国際空港南北ターミナル1階総合案内所横(計2か所)にPRパンフレット用ラックを無償にて設置。	—	引き続き、空港運営事業者により地元PRコーナーとして、大阪国際空港南北ターミナル1階総合案内所横(計2か所)にPRパンフレット用ラックを無償にて設置。	—
				引き続き、空港運営事業者により地元PRコーナーとして、大阪国際空港南北ターミナル1階総合案内所横(計2か所)にPRパンフレット用ラックを無償にて設置。	—	—	③実施継続

基本目標3. 中心市街地の回遊性とにぎわいの向上

基本戦略3-② 空港を活かしたまちづくり

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体
再掲26 P13 参照			乗換案内等の充実(デジタルサイネージ※の設置等)【再掲】	外国人観光客向けのサイン表示や、高齢者・障がい者にも利用しやすいデジタルサイネージ等を利用した乗り換え情報の充実を図る。	公共交通事業者 市

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
53			企業立地支援制度の推進	地域産業の基盤強化や市民の雇用機会の創出のため、市内への企業誘致や支援に取り組む。	市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	平成21年度は4件、平成22年度は3件、平成23年度は4件、平成24年度は1件を認定した後、平成25、26年度は0件で制度利用が無い状況が続いた。		事業者ニーズに沿った制度とするため、企業立地支援制度の見直しについて、商工業振興委員会において協議した。 認定件数は0件であった。	20,307	中小企業支援や企業の市内定着を目指し、面積要件の撤廃や小規模企業枠の追加等の対象要件の拡大、転入奨励金の新設等奨励措置の拡充等を盛り込んだ企業立地支援条例改正案を6月議会へ提案する。	30,260
				商工業振興委員会の答申を受け、答申に基づき制度の見直し案を作成し、平成29年3月から4月にかけてパブリックコメントを実施した。 平成28年度は1件の企業立地計画を認定した。	12,921	移転・廃業した工場跡地へ、新たな製造事業者がスムーズに立地できるよう、事業用地情報の提供・発信が課題である。	④拡大

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
54			観光施策と連携した利用促進	市内の地域資源を活かし、滞在型観光の強化を進める。	市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	H27事業費(千円) H28事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	伊丹を歩こうワンデーウォーキング、阪急・阪神沿線観光あるきをはじめとした事業において、市の自然や歴史を楽しむ街歩きコースを紹介した。また、兵庫県等と共同で行う観光キャンペーン等においては、観光客に対して、自然や歴史を紹介するとともに、伊丹まちなかバルや宮前まつり等中心市街地の大規模イベントのPRを積極的に行った。		伊丹を歩こうワンデーウォーキング、阪急・阪神沿線観光あるきをはじめとした事業において、市の自然や歴史を楽しむ街歩きコースを紹介した。また、兵庫県等と共同で行う観光キャンペーン等においては、観光客に対して、自然や歴史を紹介するとともに、伊丹まちなかバルや宮前まつり等中心市街地の大規模イベントのPRを積極的に行った。	856	・阪急伊丹駅前市営バス総合案内板をデジタルサイネージを使いリニューアルする。 ・引き続き、伊丹を歩こうワンデーウォーキング、阪急・阪神沿線観光あるきをはじめとした事業において、市の自然や歴史を楽しむ街歩きコースを紹介する。また、兵庫県等と共同で行う観光キャンペーン等においては、観光客に対して、自然や歴史を紹介するとともに、伊丹まちなかバルや宮前まつり等中心市街地の大規模イベントのPRを積極的に行う。また、兵庫県阪神北民局管内の4市1町で「サイクルエリアマップ」を新たに作成し、サイクリングロードをPRする。	21,356
				伊丹を歩こうワンデーウォーキング、阪急・阪神沿線観光あるきをはじめとした事業において、市の自然や歴史を楽しむ街歩きコースを紹介した。また、兵庫県等と共同で行う観光キャンペーン等においては、観光客に対して、自然や歴史を紹介するとともに、伊丹まちなかバルや宮前まつり等中心市街地の大規模イベントのPRを積極的に行った。	856	・中心市街地だけでなく、伊丹市内全域をバスや自転車で回遊していただくための仕組み作り ・市外からの観光客をどう増やしていくか	④拡大

基本目標3. 中心市街地の回遊性とにぎわいの向上

基本戦略3-③ 中心市街地における自転車等の放置の防止

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体	
55	a	○	地下(地上)ハイテク駐輪場の整備	JR伊丹駅周辺において、地下ハイテク駐輪場を整備するとともに、他にも整備可能な場所がないか検討する。	市	
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況			H29予算(千円)	
市	市	実施なし	平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性
			平成28年度実施内容	H28事業費(千円)		
			宗教法人本泉寺より、同寺敷地を駐輪場事業用地として無償借地による提供が可能である旨の申入れを受け、平成28年度から2ヶ年による事業を計画。	—	平成29年9月から現地整備工事を実施予定。平成30年2月末の完了を見込み、翌年度4月からの運用を目指す。	150,181
			整備に先行して必要な地質調査及び埋蔵文化財調査を実施。プロポーザル方式により整備事業者を決定し、契約締結済。	107,434	—	③実施継続

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体	
56	b	○	既存施設を活用した駐輪場整備や機械式路上駐輪場(路上駐輪ラック)の設置	阪急伊丹駅周辺駐輪対策として、ペDESTリアンデッキ等既存施設を活用した駐輪場整備を検討する。 阪急伊丹駅及びJR伊丹駅周辺において機械式路上駐輪場を設置し、買い物客など短時間駐輪する場合の利便性向上を図る。 また、県道に対しても県と連携して、機械式路上駐輪場の設置をめざす。	県市	
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況			H29予算(千円)	
県市	県市	実施なし	平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性
			平成28年度実施内容	H28事業費(千円)		
			阪急伊丹駅周辺に路上駐輪ラック276台分を設置。	—	◆阪急伊丹駅周辺の駐輪ラックの新設 ・駅東側(中央1丁目1番地) 46台新設 ・新設にあたり防火水槽等改修工事 ◆県道への設置について、継続して協議を実施する。	4,336
			◆阪急伊丹駅周辺の駐輪ラックの新設及び増設 ・阪急伊丹駅西側連絡橋付近 47台新設 ・関西スーパー西側出入口付近 10台増設 ◆県道189号線(京阪神急行伊丹停車場線)歩道部への機械式路上駐輪場(路上駐輪ラック)設置についての県と市の意見交換実施 ・道路法第17条(管理の特例)に基づく設置の可能性についての調査研究を開始 ・県下の実施事例(明石市)について市独自に現地調査・ヒアリングを実施	—	ハイテク駐輪場の整備に伴い、JR伊丹駅周辺の放置自転車及び駐輪場の状況を調査し必要な整備を計画する。	③実施継続

基本目標3. 中心市街地の回遊性とにぎわいの向上

基本戦略3-③ 中心市街地における自転車等の放置の防止

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体	
57		○	撤去手数料の適正化、撤去時間の延長、ランダム化による規制強化	放置自転車に対する規制の強化を行う。	市	
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	実施なし	伊丹市自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の推進に関する条例及び同施行規則を改正し、撤去手数料の見直しを図った。また、撤去強化期間を設け、啓発や夜間撤去を実施した。	×	撤去強化期間を設け、啓発を実施。また、平日日中以外の撤去を定期的実施する。	×
			撤去強化期間を設け、啓発を実施。また、平日日中以外の撤去を定期的実施した。	×	—	③実施継続

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体
再掲2 P1 参照		○	既存駐輪場の再整備【再掲】	利用しやすい駐輪場として再整備し、自転車利用者の自律を促す。	市

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体	
58		○	放置自転車防止のための啓発の充実	駐輪指導員の指導時間を延長する。 路上にサインを貼付し、放置を防止する。	市	
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	実施なし	平成27年11月の路上駐輪ラック運用開始にあわせて、阪急伊丹駅周辺の啓発指導を強化。また、駅周辺の放置多発箇所に路上ピクトサインを設置。	27,542	ハイク駐輪場の運用開始に先立って、JR伊丹駅周辺の駐輪指導時間の見直しを行う。	27,673
			平成27年度と同内容にて啓発指導強化を継続。	27,726	—	③実施継続

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体	
59		○	自転車利用者の自律を促す料金政策の実施	市営自転車駐車場の利用者に、利用料金の一定額を地域通貨「いたボ」として付与し、加盟店での買い物に利用してもらい、放置自転車対策と中心市街地活性化を図る。	市	
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容 平成28年度実施内容	平成29年度実施予定内容 課題・伊丹市以外の取組み状況	H29予算(千円) H29年度施策の方向性
市	市	実施なし	11月より、地域通貨制度開始 ・市営自転車駐車場におけるポイント発行数 →644,122ポイント	8,921	・市営自転車駐車場におけるポイント発行予定数 →1,418,000ポイント	2,758
			・市営自転車駐車場におけるポイント発行数 →812,636ポイント	2,109	市営自転車駐車場の利用者は増加している一方で、ポイント発行数は伸び悩んでおり、制度普及のために、新たなユーザーの確保等の取り組みが必要である。	③実施継続

基本目標4. 地域でつくる交通まちづくり

基本戦略4-① 地域でつくる交通まちづくり

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
60		○	交通について市民が主体的に考える場の設立および継続運営	市バスモニター制度※を維持・拡充するとともに、主体的に伊丹市の望ましい交通について検討し、実践していくとする住民や団体に対して、活動団体の設立支援や運営支援を行う。	市		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)
市	市	市バスモニター制度を維持		新たな取り組みなし	—	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性
				新たな取り組みなし	—	—	③実施継続

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体		
61		○	民間事業者との連携による交通安全教室等の拡充	楽しみながら交通安全の意識の浸透を図ることを目的とし、秋の交通安全運動期間に交通安全の啓発をテーマとしたイベントを開催する。	市 民間事業者		
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)
市	市	秋の交通安全フェスタ in いたみ2014を実施 日時：9/21(日)10時～15時 場所：阪神自動車学院 来場者数：4,000人		秋の交通安全フェスタ in いたみ2015を実施 日時：9/22(火・祝)10時～15時 場所：阪神自動車学院 来場者数：4,100人	174	秋の交通安全フェスタ in いたみ2017を実施予定 日時：9/23(土・祝)10時～15時 場所：阪神自動車学院	361
				秋の交通安全フェスタ in いたみ2016を実施 日時：9/22(木・祝)10時～15時 場所：阪神自動車学院 来場者数：3,200人	174	—	③実施継続

基本目標4. 地域でつくる交通まちづくり

基本戦略4-① 地域でつくる交通まちづくり

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要			実施主体
62		○	免許返納制度の周知・推進(公共交通利用助成の維持・拡充を含む)	免許返納制度による特典を周知することにより、高齢者の自動車事故を防ぐ。各公共交通事業者と連携し、助成維持と拡充について検討する。			警察署 交通事業者 市
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況		平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)
				平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性
市	市	【公共交通機関の助成制度】 市バス特別乗車証(高齢者無料パス):対象70歳以上の市民		【公共交通機関の助成制度】 市バス特別乗車証(高齢者無料パス):対象70歳以上の市民	—	高齢者交通安全教室等で制度の周知に関する啓発を継続するとともに、制度の推進に向けた公共交通利用助成の維持・拡充を働きかける。	—
				高齢者交通安全教室等で制度の啓発を行う。 【公共交通機関の助成制度】 市バス特別乗車証(高齢者無料パス):対象70歳以上の市民	—	免許返納制度の周知を更に広めるとともに正しい知識の普及にも努める必要がある。制度の推進に向けた公共交通利用助成の拡充を図るとともに内容を調査・検討することもある。	①検討
	交通局	実施なし。		実施なし。	—	各公共交通事業者と連携し、助成維持と拡充について検討する。	×
				実施なし。	—		①検討
警察署	警察署	・警察官が、高齢者宅を訪問する「ホットあんしん訪問活動」や、交通課が行う高齢者に対する交通安全教育の場において、免許返納に関する周知を図っている。 ・警察署の免許窓口で運転免許証の返納に関する相談に訪れた高齢者に、免許返納制度について詳細な説明を行っている。		・警察官が、高齢者宅を訪問する「ホットあんしん訪問活動」や、交通課が行う高齢者に対する交通安全教育の場において、免許返納に関する周知を図っている。 ・警察署の免許窓口で運転免許証の返納に関する相談に訪れた高齢者に、免許返納制度について詳細な説明を行っている。	×	・警察官が、高齢者宅を訪問する「ホットあんしん訪問活動」や、交通課が行う高齢者に対する交通安全教育の場において、免許返納に関する周知を図っている。 ・警察署の免許窓口で運転免許証の返納に関する相談に訪れた高齢者に、免許返納制度について詳細な説明を行っている。 ・従来の免許返納に関する周知活動に加え、高齢者利用施設や高齢者クラブを訪問し、多人数の高齢者に直接免許の返納に関する周知と呼びかけを行っている。	×
				・警察官が、高齢者宅を訪問する「ホットあんしん訪問活動」や、交通課が行う高齢者に対する交通安全教育の場において、免許返納に関する周知を図っている。 ・警察署の免許窓口で運転免許証の返納に関する相談に訪れた高齢者に、免許返納制度について詳細な説明を行っている。	×	・返納して特典を受けら得る企業、団体が少ない。市内では伊丹シティホテルだけで、他は県内全域で適用される企業、団体に限られている。 ・明石市役所では「運転免許、返して安心プロジェクト第2弾」を実施しており、免許を返納した65歳以上の市民には図書カード3,000円分、返納をすすめた市民にも図書カード1,000円分の特典がある。	③実施継続

基本目標4. 地域でつくる交通まちづくり

基本戦略4-① 地域でつくる交通まちづくり

整理番号62続き

実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況	平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)
			平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性
公共交通事業者	西日本旅客鉄道	免許返納者や高齢者への助成として、ICOCAカードを交付する取組みをすすめている。	免許返納者や高齢者への助成として、ICOCAカードを交付する取組みをすすめている。	×	免許返納者や高齢者への助成として、ICOCAカードを交付する取組みをすすめている。	×
			免許返納者や高齢者への助成として、ICOCAカードを交付する取組みをすすめている。	×	・伊丹市専用ICOCAの場合、30,000枚(@2,000円以上)が最低ロット ※周辺自治体との共有ICOCAの場合は全体で30,000枚	③実施継続
	阪急電鉄	実施なし	実施なし	—	このような取組みについて、伊丹市等からポスター掲出の依頼があれば、スペース等の都合があれば、駅の公報パネルへ掲出に向けて検討する。	—
			実施なし	—	このような取組みについて自治体からポスター掲出の依頼があれば、スペース等の都合があれば、駅の公報パネルに掲出している。	①検討
	阪急バス	高齢者用フリー定期券はんきゅうグランドパス65を平成13年より発売している。	引続き、高齢者用フリー定期券はんきゅうグランドパス65を販売した。	—	引続き、阪神バスと相互利用可能な高齢者用フリー定期券はんきゅうグランドパス65を販売する。	—
			阪神バスと、高齢者フリー定期券はんきゅうグランドパス65の相互利用を開始した。	—	長岡京市では、高齢者運転免許証自主返納支援事業を実施し、各施策の原資は長岡京市が負担している。(①当社：グランドパス1か月もしくはhanicaへのチャージ、②コミュニティバス：専用回数券、③JR：ICOCAへのチャージ、④行政：住民基本台帳カードの無料配布)	③実施継続
	阪神バス	「高齢者運転免許返納割引」として、運転経歴証明書を提示することで半額にて乗車可とする制度を導入済み。 また、「はんしんグランドパス65」として、65歳以上の方に対し、通勤定期券の約半額で定期券をご購入いただけるサービスを導入済み。	はんしんグランドパス65について、阪急バスの同じ運賃区間内であれば相互利用できる制度を導入した。	×	実施済み	×
			実施済み	×	—	③実施継続

整理番号	重点施策	早期着手施策	施策	施策概要	実施主体	
63		○	公募型協働事業提案制度※の推進	地域からの提案による放置自転車対策や交通安全教室等を推進する。	市	
実施主体	事業者	計画策定時(平成26年度)の状況	平成27年度実施内容	H27事業費(千円)	平成29年度実施予定内容	H29予算(千円)
			平成28年度実施内容	H28事業費(千円)	課題・伊丹市以外の取組み状況	H29年度施策の方向性
市	市	実施なし	平成27年12月より、放置自転車の路上駐輪ラックへの撤去業務を伊丹小学校地区自治協議会へ委託開始。	364	平成28年度と同内容にて継続。	2,495
			・路上駐輪ラックへの撤去業務を廃止し、駐輪啓発指導業務を伊丹小学校地区自治協議会へ委託開始。 ・青色防犯パトロール業務を泉町シニアクラブ及びシルバー人材センターへ委託開始。	2,436	青色防犯パトロール業務については、安全・安心見守りカメラの整備が平成28年度中に完了し、平成29年度の1年間の不審者情報件数等の推移について分析を行った結果、大幅に減少していれば当該業務については廃止を含め、実施体制を検討することが必要となる。	③実施継続

後期で着手する施策

整理番号	基本戦略	重点施策	施策	施策概要	実施主体
28	2-①		バス乗降場、タクシー乗降場の再配置や福祉車両対応乗降場の設置の検討	高齢者・障がい者等の公共交通機関を利用した移動の利便性の向上を図る。	市
34	2-②		バス優先レーン拡充の検討	市道での該当路線未定。県道等で必要性に応じて県・警察署と連携してバス優先レーンの拡充をめざす。	県 警察署
45	2-④		公共交通利用による公共施設利用料(入館料等)の軽減や公共交通利用促進につながる観光イベント等の実施	各公共交通事業者と利用料割引の導入等について検討する。	市 公共交通事業者
50	3-①		自転車タクシー※の導入の検討	阪急伊丹駅とJR伊丹駅間で導入することを検討する。	市
64	4-①		地元住民によるバス停付近の清掃・緑化等のアダプト制度※の導入の検討	バス停付近の清掃・緑化等のアダプト制度の導入について検討する。	市